

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成18年3月23日(2006.3.23)

【公開番号】特開2004-239422(P2004-239422A)

【公開日】平成16年8月26日(2004.8.26)

【年通号数】公開・登録公報2004-033

【出願番号】特願2003-32281(P2003-32281)

【国際特許分類】

*F 16 K 11/22 (2006.01)*

*B 01 D 35/04 (2006.01)*

*C 02 F 1/28 (2006.01)*

*C 02 F 1/44 (2006.01)*

【F I】

*F 16 K 11/22 Z*

*B 01 D 35/04*

*C 02 F 1/28 R*

*C 02 F 1/44 B*

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月7日(2006.2.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】複数流路の開閉の切換えを、回転軸(21)により駆動される弁体(9)によって行う切換弁であって、該回転軸(21)と該弁体(9)とが2個以上かつ同数個配されている切換弁。

【請求項2】前記回転軸(21)の回転を、ボタン(7)の押し込み操作によって行う請求項1に記載の切換弁。

【請求項3】前記ボタン(7)の押し込み方向が概略鉛直方向である請求項2に記載の切換弁。

【請求項4】前記ボタン(7)は、回動支点部(71)を有し、該回動支点部(71)を中心にして移動する請求項2又は3に記載の切換弁。

【請求項5】切換弁本体(5)に、前記弁体(9)と、前記回転軸(21)と、アーム(25)と、前記ボタン(7)とがそれぞれ同数個配され、

該アーム(25)は、前記ボタン(7)の動きを前記回転軸(21)の回転運動に変換するものであり、

前記ボタン(7)のうち、一つのボタン(7)が押し込まれた際に、その前に押し込まれていたボタン(7)の位置を元に戻す復元機構が配された請求項2~4のいずれか一項に記載の切換弁。

【請求項6】前記アーム(25)の一端にはU字状突起(23)が設けられ、他端には棒状突起(24)が設けられており、

該U字状突起(23)は、前記回転軸(21)に設けられた回転カム(22)に係合し、該棒状突起(24)は、前記ボタン(7)に設けられたU字状突起(71)に係合する請求項5に記載の切換弁。

【請求項7】前記復元機構は、弾性体(30)によって付勢された係止枠(32)からなり、

該係止枠（32）は、前記棒状突起（24）の移動により上下し、前記棒状突起（24）を係止又は開放するものである請求項6に記載の切換弁。

【請求項8】 前記弁体（9）及び前記回転軸（21）の数が3個であり、鉛直方向から見た際に、蛇口接続口（2a）の中心部を含む三角形の頂点にそれぞれ配されている請求項1～7のいずれか一項に記載の切換弁。

【請求項9】 前記切換弁本体（5）の、前記ボタン（7）の突出側とは反対側で、かつ前記ボタン（7）と相対する位置に、平面部（45）を設けた請求項5～8のいずれか一項に記載の切換弁。

【請求項10】 請求項1～9に記載の切換弁によって流路の切換を行う浄水器。